

保護者の皆様へ

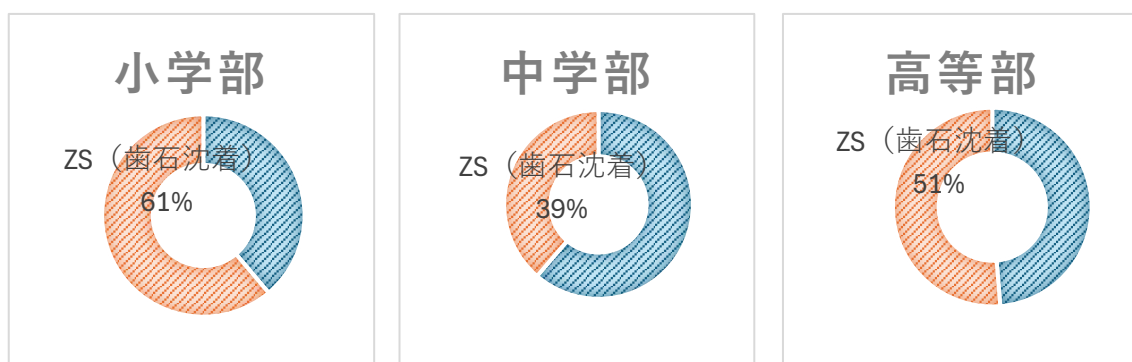
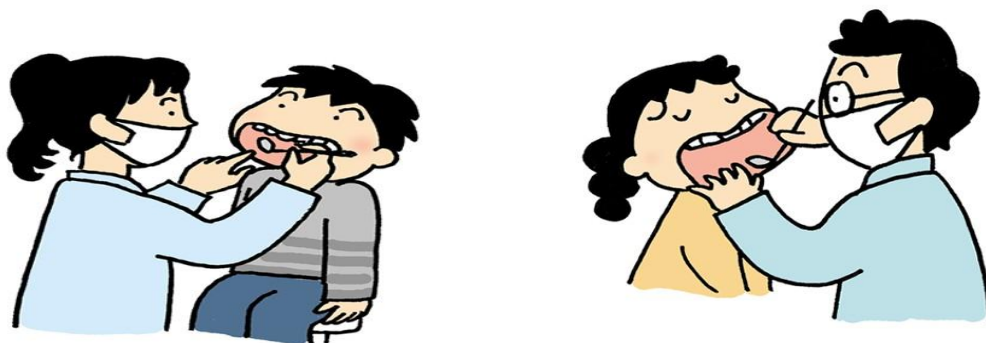
お子様はご自宅で歯磨きをしていますか。もしかしたら、歯を磨こうとしても、「嫌がって口を開けない」「逃げ回る」「歯ブラシを投げてしまう」などありませんか？ 特別支援学校の児童生徒にとって、毎日の歯磨きや歯科医への受診は非常に大変です。しかし、歯の健康なくして全身の健康を考えることはできない時代です。



本校では、今年度「歯の健康について何かできないか」と取り組みを始めています。

下の写真は、6月29日に小学部低学年で、7月6日に小学部高学年で、歯磨きの仕方について指導した時の様子です。児童の歯磨きへの関心は意外に高く、口の中の模型を珍しそうに眺めている様子が見られました。小学部の保護者の皆様、歯の生え変わるこの時期が非常に虫歯になりやすく歯のケアがとても大切であることをご存じでしょうか。しっかり隅々まで磨くことが必要なため、自分で磨いているお子様の場合でも仕上げ磨きが必要です。うまく磨けないお子様の場合は、よりていねいな仕上げ磨きが必要となります。





次に、上の円グラフをご覧ください。小中高等部を含めた全校児童生徒の今年の歯科検診の結果をまとめたところ、ZS（歯石沈着）と指摘された児童生徒が非常に多いという結果がでました。小学部で61%、中学部で39%、高等部では51%という結果がでました。この結果から日常の歯磨きが非常に重要であることに加え、ZS（歯石沈着）は歯磨きでは取れないので、歯科医で除去してもらうということが最重要課題となります。歯石は静かに溜まり、初期は痛みも腫れもありません。しかし、歯石の表面はザラザラしていてプラークと呼ばれる汚れが付きやすく、さらに歯石がついていくといった悪循環になります。実は、4月に保護者の皆様に児童生徒の歯の問診を記入していただいた中では、「口が臭い」が多く、ZS（歯石沈着）が口臭の原因であることも考えられます。

口がきれいになると気持ちもすっきりしますよね。そんな感覚を感じてもらえたら歯磨きも続いていくのかなと思います。

